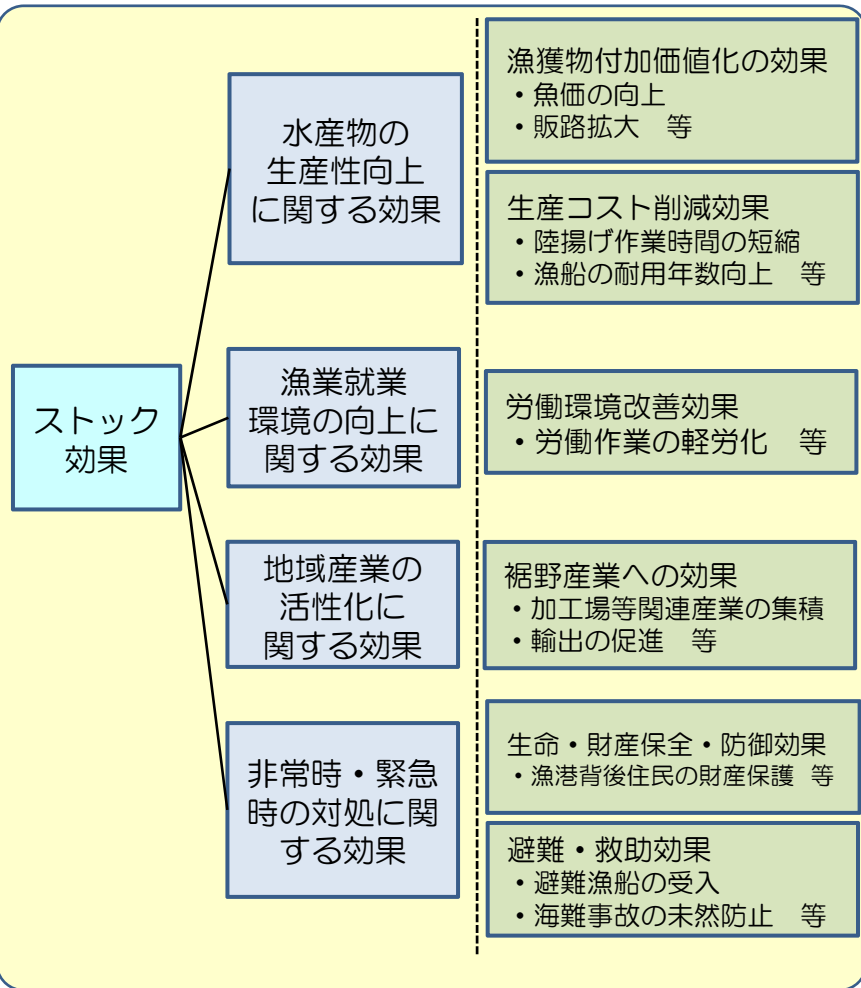


Ⅲ 水産業関係 ストック効果の最大化を図る社会資本整備の推進

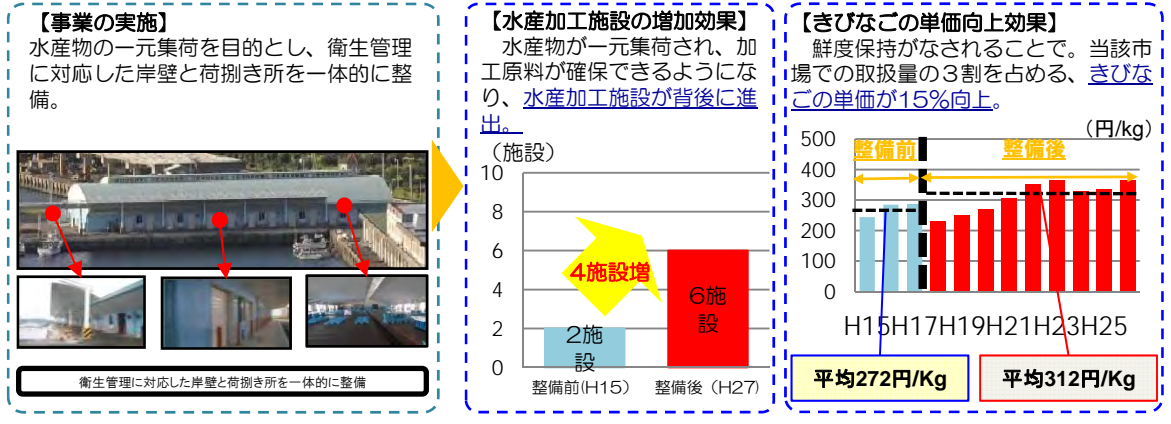
- 水産基盤整備事業は、その実施により、水産物の安定供給や水産業の健全な発展に関する効果を発揮。
- 岸壁整備による陸揚げ作業時間の短縮や販路拡大などの生産性向上効果のほか、衛生管理対策による水産物の輸出促進や水産加工・漁具・食料等関連産業の集積による地域産業活性化効果などがある。

●水産基盤整備事業のストック効果の例

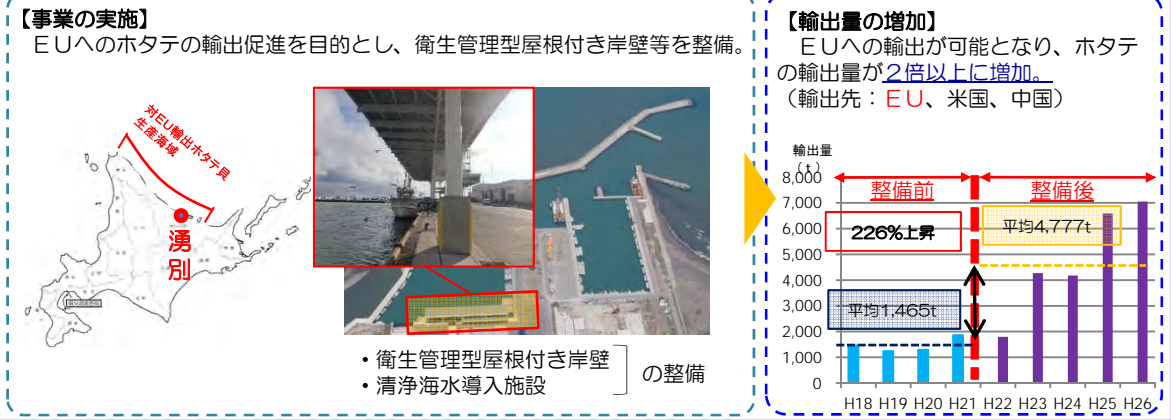


●ストック効果の事例

事例1：衛生管理に対応した岸壁と荷捌き所の一体整備による魚価向上【鹿児島県阿久根市】



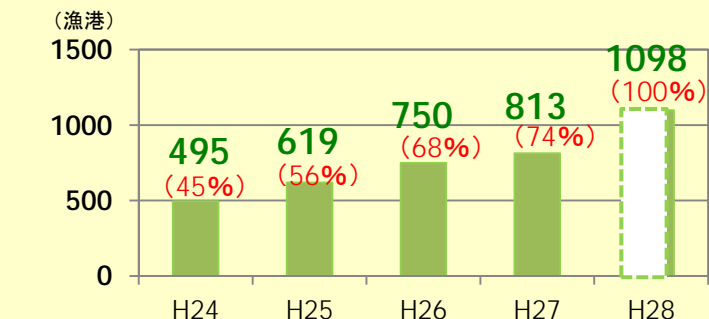
事例2：屋根付き岸壁の整備等の衛生管理対策による輸出量の増加【北海道湧別町】



Ⅲ 水産業関係 公共施設のストック適正化・インフラ老朽化対策の推進①

- 漁港施設に係る個別施設計画の策定については、現漁港漁場整備長期計画（H24-28）において策定目標を設定するとともに、毎年、進捗状況を把握。
- 個別施設計画の策定促進のため、計画策定に当たっての留意点をまとめた手引きや研修会等による技術的支援を推進。
- 個別施設計画を踏まえて、中長期的な維持管理・更新等に係るライフサイクルコストの縮減や予算の平準化を図りつつ、効率的な保全対策を実施。
- 更なるコスト縮減に向けて、高度かつ効率的な点検・診断及び情報の蓄積が可能となる新技術の開発・導入が必要。

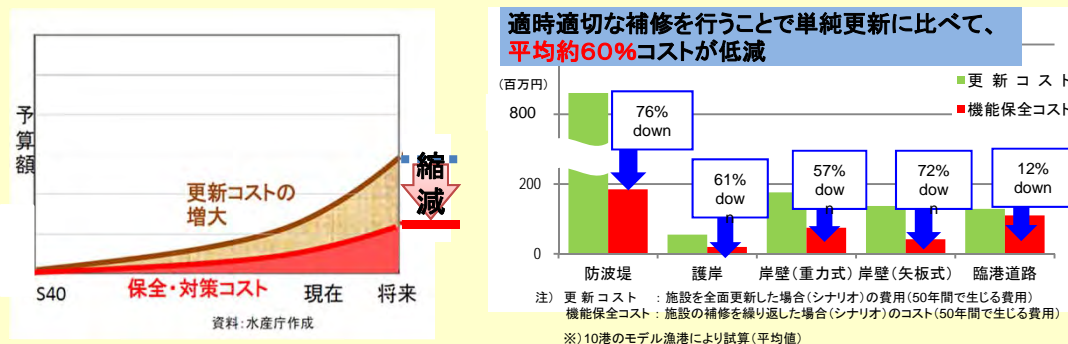
●個別施設計画の策定状況



※平成33年までに耐用年数(50年)を経過する係留施設を有する一定規模の漁港：1,098漁港（現漁港漁場整備長期計画における対象漁港）

●予防保全による長寿命化対策の効果

(コスト削減効果の事例※)



●個別施設計画の策定支援施策

a. 技術的支援

- 機能保全・維持管理に係る技術的な手引き、ガイドラインの策定。
- 計画策定に係る研修会等の実施。

b. 財政支援

- 施設の機能診断や計画策定にかかる費用の一部を支援。

さらに

- 今後、研修内容技術開発等の充実により、地方公共団体の専門技術者の育成及び簡易に診断できる技術の普及を図る。

●予防保全の効率化等に資する技術開発【漁港点検システム】

ICTの活用による漁港施設の状態に関する情報の蓄積・更新、関係者間での情報共有により維持管理業務を効率化。

項目名	内容
点検種類	日常点検
最終更新	2015年8月27日 10:49
登録者所属	●●市△△部
場所名	A漁港
対象施設	防波堤
施設位置	上部工
損傷の種類	亀裂
撮影者コメント	No21、機能保全計画上の評価を要確認



機能保全計画で要経過観察として位置づけ



Ⅲ 水産業関係 公共施設のストック適正化・インフラ老朽化対策の推進②

漁港施設（岸壁）の長寿命化によるコスト縮減

概要

腐食により肉厚不足や開孔が懸念される鋼矢板形式の岸壁の補修（電気防食工法、ペトロラタムライニング工法）を行い、既存施設を長寿命化して、コストの縮減を図った。

効果

事業費比較（直接工事費 延長80.0m）
 対策コスト 24,000千円
 更新コスト 146,000千円
 コスト縮減額 122,000千円（84%の縮減）

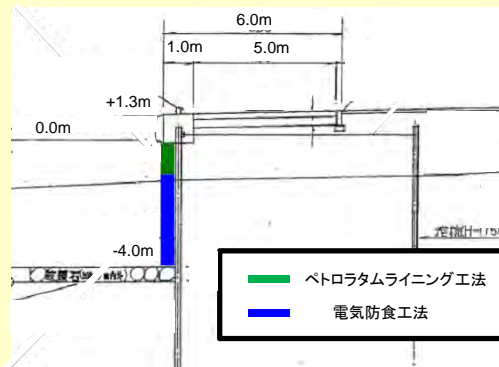


老朽化した岸壁



長寿命化対策後の岸壁

全体的に発錆や小さな開孔が多数発生



漁港施設（防波堤）の長寿命化によるコスト縮減

概要

施設全体にひび割れや欠損が生じている防波堤の補修（断面修復工法、腹付け工法）を行い、既存施設を長寿命化して、コストの縮減を図った。

効果

事業費比較（直接工事費 延長25.9m）
 対策コスト 27,870千円
 更新コスト 86,520千円
 コスト縮減額 58,650千円（68%の縮減）



老朽化した防波堤



長寿命化対策後の防波堤

ひび割れや欠損が多数発生

